

臨床検査専門医認定・更新に係る講習会の申請書記載上の注意点 (共通講習用)

1. 開催場所について

WEB講習のみの場合は学術集会事務局等、集会の開催を担当する施設の所在地（都道府県および市町村）を記載してください。会場名は記載不要です。

現地講習とWEB講習のハイブリッド講習の場合は、現地講習の会場を記載してください。

2. 開催方法について

該当する項目を選択し、不要な項目は削除してください。

オンデマンドWEB講習に関しては配信期間も記載してください。

e-learningは受講可能期間が設定されている場合は、これを記載してください。

記載例

開催方法	現地講習
開催方法	e-learning 受講可能期間：〈20xx年〉x月x日（曜日）～y月y日（曜日）
開催方法	WEB（リアルタイム）講習
開催方法	e-learning（オンデマンドWEB講習） 配信期間：〈20xx年〉x月x日（曜日）～y月y日（曜日）
開催方法	WEB講習（リアルタイム+オンデマンド：e-learning） オンデマンド配信期間：〈20xx年〉x月x日（曜日）～y月y日（曜日）
開催方法	ハイブリッド講習：現地+WEB（リアルタイム）
開催方法	ハイブリッド講習：現地+e-learning（オンデマンドWEB講習） 配信期間：〈20xx年〉x月x日（曜日）～y月y日（曜日）
開催方法	ハイブリッド講習：現地+WEB（リアルタイム+オンデマンド：e-learning） オンデマンド配信期間：〈20xx年〉x月x日（曜日）～y月y日（曜日）

3. 講習会主催について

学術集会の事務局や担当施設ではなく、主催する学会名や団体名を記載してください。

日本臨床検査医学会の学術集会や特別例会の場合は「日本臨床検査医学

会」，日本臨床検査医学会の支部総会，支部例会，地方会等は「日本臨床検査医学会〇〇支部」と記載してください。

共通講習に関しては，講習会の主催者は日本専門医機構の基本領域学会か機構認定サブスペシャリティ領域の担当学会であることが原則です。それ以外の主催者（日本臨床検査医学会以外の学会等）が申請する場合は，当該プログラムを必ず日本臨床検査医学会との共催としてください。

- 例** 「日本臨床検査医学会，日本臨床化学会」
「日本臨床検査医学会，日本臨床検査専門医会」
「日本臨床検査医学会，日本検査血液学会」等

4. (学術) 集会名について

講習会が開催される集会名を具体的に記載してください。

- 例** 「第 69 回日本臨床検査医学会学術集会」
「第 60 回日本臨床検査医学会 東海・北陸支部総会・第 344 回日本臨床化学会 東海・北陸支部例会 連合大会」
「第 67 回日本臨床検査医学会九州地方会・第 33 回日本臨床化学会九州支部総会・第 2 回日本医療検査科学会九州地方会 合同総会」
「日本医療検査科学会第 54 回大会」
「第 39 回臨床検査振興セミナー」
「第 29 回日本遺伝子診療学会大会」等

5. 講習会名について

原則として講習形式とテーマを併記してください

- 例** 特別講演「患者安全とコミュニケーション」
シンポジウム 4「抗菌薬適正使用支援チーム (AST) 活動の課題とその解決法」
委員会企画 1「地域医療に貢献する臨床検査専門医；偏在と確保の視点」
生涯教育講演会 2「患者安全の全体像」
医療倫理分野講演会「仏教の生命観—なぜ苦しみが生まれるのか—医療者に伝えたいこと」
感染対策講演会「新型コロナウイルス感染症対策と臨床検査部」

特別講演や教育講演は複数の演者による連続講演の場合，上記例のように講演全体のタイトルも記載してください。単一の演者による講演には下段の講演 1 の欄に演題名が記載されるため，演題名の記載は不要です。単に「特別講演 1」「教育講演 2」「会長講演」などと記載してください。

共通講習の演題名は，カテゴリー区分のどれに該当するかが分かるよう

な演題名を設定してください。カテゴリ区分のどれに該当するかが連想できないような演題名の場合、認定不可となる場合があります。

例 「電子カルテデータを用いる臨床研究基盤の構築に向けて」を地域医療で申請して認定不可となりました。その後、演題名を「未来の医療ネットワークのビジョンーPersonal Health Recordによる地域医療連携と臨床研究のためのデータ収集ー」に変更して再申請し、認定されました。

また、共通講習に関しては、臨床検査領域以外の専門医にも共通する普遍的な内容である必要があるため（**臨床検査専門医認定・更新に係る講習会申請手順（共通講習用）**参照）、臨床検査専門医に特化した内容や演題名は認定不可となります。

例 「地域中核病院での臨床検査専門医の役割ーその可能性と責務」を地域医療で申請し、認定不可となりました。その後、演題名を「地域中核病院での専門医の役割、その可能性ー臨床検査の視点で」に変更して再申請しましたが、臨床検査専門医に特化した内容であるため共通講習としては認定せず、臨床検査領域講習で再申請し、認定されました。

臨床検査自体は他領域の専門医も利用するものなので、各領域に共通する普遍性がある程度認められるため、特に利用者の視点を加えることにより認定は可能です。しかし、臨床検査の実施側・現場に限定した内容の場合は認定不可となります。

例 「検体検査をめぐる医療制度・法律とその問題点」を医療制度と法律で申請しましたが、検体検査は多くの領域の専門医が利用するものなので、少し議論はありましたが認定されました。

感染対策で「臨床検査部における感染対策」、医療安全で「臨床検査室における医療安全」といった演題名にした場合、臨床検査の実施側に限定された内容である印象が強くなるため、認定不可となる可能性が高くなります。「感染対策と臨床検査」や「医療安全ー臨床検査を例に」と行った演題名にすると、前記した臨床検査の実施側に限定される印象が薄くなり、認定される可能性が高くなります。

6. 講習形式について

(1) 講習会・講演会

1時間当たり2名以内の演者による講演で、特別講演や教育講演、会長講演等。セミナーや日本臨床検査医学会の「委員会企画」に関しては、前記条件に該当する場合は「講習会・講演会」を選択してください

(2) シンポジウム・ワークショップ

1時間当たり4名以内の演者によるシンポジウムやパネルディスカッション、ワークショップ、ケースカンファレンス、フォーラム等。RCPCは「シンポジウム・ワークショップ」を選択してください。セミナーや日本臨床検査医学会の「委員会企画」に関しては、(1) 講習会・講演会 の条件を満たさず、本項の条件を満たす場合は「シンポジウム・ワークショップ」を選択してください。

(3) e-learning

1時間以上の講習で、システム上にて受講確認ができるもの。受講後に5題以上の確認試験（e-testing）を実施し、8割以上の正解をもって合格としますが、合否判定もシステム上で可能であることが条件となります。共通講習のオンデマンド配信によるWEB講習に関しては、日本専門医機構では「e-learning」として認定（新型コロナウイルス感染症蔓延期間の暫定処置）しています。そのため、「e-learning」として申請してください。

7. カテゴリー区分について

該当する項目を選択し、不要な項目は削除してください。

記載例

カテゴリー区分	必修A：医療倫理
カテゴリー区分	必修A：感染対策
カテゴリー区分	必修A：医療安全
カテゴリー区分	必修B：医療制度と法律
カテゴリー区分	必修B 地域医療
カテゴリー区分	必修B：医療経済（保健医療等）
カテゴリー区分	任意：災害医療

8. 講演欄（講演1、講演2等）について

(1) 演者と演者の所属、個々の講演の演題名を記してください。

(2) 「COI自己申告」欄

本欄は演者のCOI自己申告書提出の有無を記してください。演者のCOIの有無を記す欄ではありません。なお、本欄で「無」にチェック（, , 等）が入っている場合、共通講習としての認定は原則として「不可」となります。

9. 企業共催の有無について

(1) 企業等の営利団体との共催の有無を記載してください。企業等の協賛があっても本欄は「無」と記載してください。なお、共催と協賛の区別は

以下の通りです。また、企業共催の場合、共通講習としての認定は原則として「不可」となります。

共催：演題や演者の選定に際し、企業等による何らかの関与、影響力の行使があった場合

協賛：資金や役務等の支援を受けたが、これに配慮（忖度）することなく、主催者が独自に演題や演者を決定した場合

10. 講習会の概要について

講習会の狙いや概要について簡潔に記載してください。テーマに「新型コロナウイルス感染症対策と臨床検査部」のように『臨床検査』が入っている場合、臨床検査に限定した内容だけでなく、感染対策に関する普遍的内容、各領域に共通する内容を含んでいることを記載してください。臨床検査領域以外の専門医にも共通する普遍的な内容を含んでいることが分かるように記載してください。

カテゴリー区分（医療倫理、医療経済など）のどれに該当するかが連想しにくい演題名の場合、該当するカテゴリー区分との関係性を明確に記載してください。